

第24回ビジネスアーキivist研修講座 開講要領

対象	文書管理、史資料管理、社史編纂、ミュージアム、図書管理等の担当者（アーキivist）
定員	基礎コース・応用コース各日 各30名（先着順）
期日	基礎コース 2019年10月3日（木）・11日（金）・16日（水）・25日（金）〈4日間通し〉 応用コース 2019年11月8日（金）・15日（金）・22日（金）・29日（金）、12月6日（金）・13日（金） 〈希望日選択〉
時間	13:30～16:45（途中15分間休憩）※10月16日は14:30～17:45、11月15日は13:00～16:15
会場	<p>東京大学経済学研究科 学術交流棟（小島ホール）1階 セミナー室（第1、第2セミナー室）</p> <p>東京都文京区本郷7-3-1 ☎03-5841-5591 ※赤門を右方向へ約60m、右側の建物です。</p> 
受講料	<p>基礎コース（4日間通し）：企業史料協議会会員 20,000円/名 一般 30,000円/名</p> <p>応用コース（各日ごと）：企業史料協議会会員 6,000円/名 一般 8,000円/名</p>
申込締切	基礎コース：9月24日（火） 応用コース：各開講日の10日前まで
申込方法	<p>受講申込書にご記入の上、メール添付、FAXまたは郵送にて事務局までお送りください。</p> <p>E-mail info@baa.gr.jp FAX 03-3239-5090</p> <p>〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-20-3 水道橋西口会館901（一財）日本経営史研究所内</p>
支払方法	<p>受講申込後に申込確認書とともに請求書をお送りしますので、受講日までにお振込みください。</p> <p>【お振込先】 みずほ銀行 町村会館出張所 普通預金 1053703 企業史料協議会</p>

企業史料協議会 事務局

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-20-3 水道橋西口会館901（一財）日本経営史研究所内
TEL 03-3234-6358 FAX 03-3239-5090 メール info@baa.gr.jp ウェブサイト http://www.baa.gr.jp

わが国唯一のビジネスアーキivist対象講座

第24回 ビジネスアーキivist研修講座 開講案内

本講座は、企業や団体において史資料の管理や社史編纂、博物館などの業務に携わるビジネスアーキivistの育成を目的としています。企業史料やビジネスアーカイブズ（企業アーカイブズ）の目的・意義、資料やデジタル情報の管理・活用・保存など、ビジネスアーカイブズに必須の知識を、各分野の専門家が講義します。また「事例研究」では、企業における優れた事例を実際の担当者が紹介します。

初心者向けの「基礎コース」はビジネスアーカイブズの基本をしっかりと学ぶ内容です。経験者向けの「応用コース」はテーマを絞って深く学び、講師との意見交換も行うコースとして、企業の幅広いアーカイブズ活動を担うアーキivistの水準向上につながるカリキュラムを組んでいます（詳しくは次ページのカリキュラムをご覧ください）。基礎・応用全コースを受講された方には修了証を発行いたします。

2019年開講日程

基礎コース（4日間受講）

10月3日（木）・11日（金）・16日（水）・25日（金）

応用コース（各日選択受講・全6日間）

11月8日（金）・15日（金）・22日（金）・29日（金）、12月6日（金）・13日（金）



第 24 回ビジネスアーキivist研修講座 カリキュラム

基礎コース《4日間通し》

講義時間 13:30～16:45 (途中休憩 15 分) 会場：第 2 セミナー室

※基礎 3 は 14:30～17:45、第 1 セミナー室となります。

	開催日	テーマ	講師	ねらい
基礎 1	10月3日(木)	アーカイブズの意義とアーキivistの役割	学習院大学文学部教授 (大学院アーカイブズ学専攻) 保坂 裕興	企業史料を保存管理するアーカイブズと、その担当者であるアーキivistの役割や業務内容を学ぶとともに、そのあり方を考える。ビジネスアーキivist必聴の基礎講座。
基礎 2	10月11日(金)	日本企業の経営発展と企業史料	青山学院大学経営学部教授 長谷川 信	企業の経営発展にともなって、企業の組織、経営資源が変容し、それら相互の関係が変わるにつれて、企業史料の在り方も変化してきた。経営者やマネジメントとの関係を含めて具体的事例を見ながら、企業史料の保存と利用について考える。
基礎 3 ※	10月16日(水)	「社史とアーカイブズ」概論	東京理科大学大学院 イノベーション研究科教授 橋川 武郎	会社史編纂の基礎を学ぶとともに、会社史編纂と史料の関わりを考え、デジタル時代の会社史編纂を自社のアーカイブズに結び付ける方法を学ぶ。
基礎 4	10月25日(金)	アーカイブズの価値と実践：文書作成から実践へ	東京大学文書館准教授 森本 祥子	アーカイブズが果たしている役割からその価値を考察する。文書作成から活用に至る道筋とその構築を、講師が経験した東京大学文書館での仕事を参考にしつつ講義する。

応用コース《希望日選択》

講義時間 ①13:30～15:00 ②15:15～16:45 会場：第 2 セミナー室

※応用 2 は 13:00～16:15、第 1 セミナー室となります。

	開催日	テーマ	講師	ねらい
応用 1	11月8日(金)	①② 資料の収集、評価・選別、管理と活用	麗澤大学大学院 経済学研究科 教授 佐藤 政則	企業資料の収集から、保存すべき資料の評価・選別、整理、活用までのシステムづくりについて、豊富な参考事例によって学ぶ。デジタル時代に対応する資料管理システムについても考える。
応用 2 ※	11月15日(金)	①② ビジネスアーカイブズに関わる著作権等の法律について	ライツ法律特許事務所 弁護士・弁理士 伊藤 真	ビジネスアーカイブズに必要な著作権をはじめとする法律について基礎知識を学ぶとともに、日常業務の中での注意点、対処方法、最近の運用について知る。実務に詳しい弁護士が、分かり易い事例を交えて講義する。
応用 3	11月22日(金)	① 企業資料デジタル化の基礎・実践・課題	(株)堀内カラー アーカイブサポートセンター所長 肥田 康	企業資料をデジタル化する意義や、デジタルアーカイブズの考え方を理解する。保存する各種の資料をデジタル化する具体的な進め方、方法を学び、得られたデータの整理や保存、利活用における問題点について考える。
		② 企業アーカイブズのデジタル活用の構想と実務	(株)ライオン 総務部社史資料室 松村 伸彦	ライオン(株)社史資料室でのアーカイブ活動におけるデジタル化とその活用について、「紡ぐ」「繋ぐ」「使う」をキーワードとした実務を中心に、社史資料室の活動を報告する。
応用 4	11月29日(金)	① ビジネスアーカイブズでの資料の保存と管理	一橋大学言語社会研究科特別研究員 吉川 也志保	資料の収蔵環境や日常管理について、素材や劣化要因を解説しながら、保管と取り扱いの留意点について学ぶ。
		② 経済学部資料室 (解説と見学)	東京大学大学院 経済学部資料室 助教 矢野 正隆	企業や団体の資料室の設立・運営について、東京大学経済学部資料室の見学を通して学ぶ。
応用 5	12月6日(金)	① 企業ミュージアム概論	(株)丹青研究所 文化空間情報部長 石川 貴敏	企業ミュージアムの位置づけは多様化している。設立経緯や設備、運営方法も、リニューアル時期に合わせて現代の企業ミュージアムのあり方へと変換されている例が多くなってきた。企業ミュージアムに長年携わる講師に、最近の傾向と将来像を学ぶ。
		② ヤマハ(株)企業ミュージアム イノベーションロード 企画から運営立上げまで	ヤマハ(株)企業ミュージアム イノベーションロード 前館長 奥村 暢朗	1887年の創業以来、130余年の挑戦の歴史を支えてきたヤマハのDNAを発信する場として2018年7月にオープンしたイノベーションロード。開設に至る展示企画コンセプト検討の軌跡と施設運営立上げ/安定化に向けた取り組み事例を具体的に解説する。
応用 6	12月13日(金)	① 事例研究：ブラザー工業(株)のアーカイブズ	ブラザー工業(株)CSR&コミュニケーション部 岩尾 文香	担当者一名で切り盛りしているブラザー工業 (株) のアーカイブズ業務内容および課題を解説。ブラザー創業の地を諸資料を手掛かりに発見した経緯なども併せて紹介する。
		② 事例研究：(株)タカラトミーのアーカイブズ	会長付 スペシャリスト 学芸員 菅谷 茂美	4年前、経営の第一線から退いた創業家三代目が、2024年に迎える創業100周年を前に、おもちゃを生業とすることの意味、先人たちの想いを改めて全社員で共有したいと動き出した。“おもちゃ”という扱い商品の特殊性、合併会社としての悩み、試行錯誤を繰り返して、現在進行形でアーカイブズに取り組む企業の「これまで」と「これから」に触れる。